

# がん患者さんのコロナワクチン接種

新型コロナウイルス感染症（covid 19）のワクチン接種については、基礎疾患の有無に関わらず、接種した方が良いのかどうかという不安の声は少なくありません。中でも、基礎疾患をお持ちのがん患者さんにおいては、副反応の心配や接種することで治療に影響を及ぼすことはないのか等、不安や疑問を感じられているのではないのでしょうか。

そんな不安や疑問に対して、がん患者さんがワクチンについてできるだけ正しく判断できるよう、学会やがん診療連携拠点病院はワクチン接種のQ&Aを出しております（以下、日本癌治療学会、日本癌学会、日本臨床腫瘍学会、がん研有明病院が出している情報を参考にしています）。

## がん患者はワクチンを受けた方が良いの？

全てのがん患者さんで重症化や死亡のリスクが高い訳ではありませんが、高齢者や全身状態の著しく不良な方は死亡リスクが高くなるとの報告もあります。厚生労働省は、治療中の悪性腫瘍の患者さんを優先接種の対象としていますので、接種を前向きに検討され、主治医の先生へ相談し判断されるのが良いでしょう。

## がんの治療中にワクチンを受けても影響はないの？

がんの治療法には、手術や放射線治療、薬物療法などがありますが、いずれの治療においてもワクチン接種は推奨されています。接種のタイミングは、がんの治療に影響がないよう調整するのが望ましい為、主治医の先生へ相談して決めるようにしましょう。

## 副反応が怖いです…

接種した人の中には、接種当日や翌日から1,2日ほど熱が出て、だるい、頭が痛い、節々が痛いなどの副反応が出ることがあります。国内の医療者先行接種の結果では、高齢者は若年者よりも副反応が少なかったと報告されています。また、がん患者さんの場合、発熱や痛みなどの副反応が健康な成人よりもかなり少ないという報告もあります。

## 色々な情報が出回って、正しい情報が分からない

インターネットやSNS等には、様々な情報があふれていますが、中には根拠に乏しい情報や営利目的の情報もあるので要注意です。

ご自身で調べられる時には、情報の発信元を確認し、国や自治体が紹介しているものなど、情報源の確かな情報と知識を得るようにしましょう。

◆コロナワクチンナビ

◆がん情報サービス



もっと知りたいという方は、お気軽にお電話ください。  
当がん相談支援センターではメールでの相談にも対応しています。



高知大学医学部附属病院 がん相談支援センター

TEL088-880-2179 (平日8:30~17:15)

当センターホームページ→

